



# KOFU21

Chartered 1990

## THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11  
山梨YMCA青少年センター  
〒400-0032 TEL 055-235-8543  
FAX 055-235-8653

国際会長主題  
アジア会長主題  
東日本区理事主題  
あずさ部長主題  
甲府21会長

Mission with Faith 信念のあるミッション  
Through Love, Serve 愛をもって奉仕をしよう  
原点に立って、未来へステップ  
ワイズメンとして一歩前進  
小さなことを忠実に行動

2016  
3月号

### ★今月の聖句★

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。  
見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。  
(コリントの信徒への手紙 二 4章18節 鎌田巖 選)

### 2016年3月例会

日時 2016年3月1日(火)19:00～  
会場 YMCAセンター  
司会 寺田喜長メン

開会点鐘 駒田勝彦会長

ワイズソング

ワイズの信条

会員一言 鎌田 巖メン

会長挨拶 駒田勝彦会長

ハッピーバースディ

ワイズディナー

ゲスト紹介 紹介者 茅野 崑メン

ゲスト卓話 「共同通信社の働きと  
大村博士のノーベル賞受賞同行記」

澤田明 氏 (共同通信社甲府支局 社会部記者)

諸報告

YMCAの歌

閉会点鐘 駒田勝彦会長

### ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう  
義務はすべての権利に伴う』  
『To acknowledge the duty  
That accompanies every right』

### 3月の誕生者

(メン)

松村 豪夫 (2)

(メネット)

葉袋 けさみ (31)

### 2月のデータ (在籍数 20名)

2月例会出席者数	14名
メネット4名 ゲスト2名	合計20名
2月第二例会出席者数	14名
出席率 14/20	70.00%
ニコニコ募金	9,340円
ニコニコ募金累計	34,531円

### ●●●● 今後の予定 ●●●●

○3月11日(金) チャリティーラン第1回実行委員会	YMCAセンター	18時～
○3月15日(火) 第2例会	YMCAセンター～若奴	18時30分～
○4月5日(火) 例会	YMCAセンター	19時～
○4月16日(土)～17日(日) 草津クラブとの合同例会	今津サンブリッジホテル	

2015-2016 年度

3 月

会 長 挨拶

駒田 勝彦会長

<セツブン草> (キンポウゲ科)

日本固有の可憐な多年草で和名は旧暦の節分のころに花をつけるので由来するといわれています。花卉に見えるのは萼片で花弁は先端が黄色のもの、青色に見えるのが雄シベ、中央の薄紅色のものが雌シベです。花は小さく目立たないのですが、良く見ると色多く美しい花です。実をつけて後夏には姿を消します。

可憐であり、春真っ先に広葉樹の林に咲く花に愛おしさを感じずにはいられません。山梨県では市川三郷町の民家に群生地があります。



春を感じさせてくれるものには、人それぞれかと思いますが、その中で植物の花によることを思う方は多いのではないのでしょうか。

日本の植物に関しいつごろからどのようにして体系化されてきたのか

大場秀章(東京大学名誉教授:植物分類学)博士の「ハーバリウム及黎明期の日本植物研究の歴史」によりますと

まず、日本の植物の特徴は、①島であるが地形が複雑で主の多様性が高いこと

②熱帯と温帯の移行帯が日本の中央部を占め、熱帯系と温帯系の両方の植物が生育していること。③北アメリカ東部の植物相に似ている日華植物区系に属すること、の3点

日本の植物について科学的研究は、オランダ商館医として来日した ケンベル(1690年)、ツェンベルク(1775年)、シーボルト(1823年:江戸時代文政6年から文政12年) 彼らはほぼ等間隔を置いて来日し調査がされた。とあります。この方がたにより日本の植物がヨーロッパよりも豊富であり体系化されたとあります。

しかし近年日本の豊富な植物も絶滅危惧種になったり、幻となったものもあります。気候の変化、動植物(人間も含め)の生態系の変化によることもあります、我々の身の回り今あるものを大切にしたいと思えます。

## 2 月 ( T O F ) 例 会 報 告

書記 寺田喜長

日 時 2016年2月2日(火) 19:00~

会 場 山梨YMCAセンター

出席者 相川、稲垣、小澤、鎌田、功刀、駒田、  
興水、寺田、奈良田、野々垣、古屋、  
松村(豪)、薬袋、山縣 14名

メネット 相川、寺田、廣瀬、古屋

ゲスト 中田久仁 講師 大和田浩二  
20名

司会担当の茅野メンが体調不良にて欠席され、駒田会長が代役にて開会、会員一言では稲垣メンが大勢に

流される今の世の傾向の中で、自分が主張したいことを言うとかかといわれる時代を憂いコリント信徒への手紙の10章30節を今月の聖句に選ばれました。

駒田会長からは6月の長野クラブがホストする東日本区大会への参加及び運営協力要請と今日の研修講師の大和田浩二氏、ゲストのYMCA職員中田久仁氏の紹介が有りました。

ハッピーバースディの一言で、毎年中島メンと共に祝って頂いていましたが何か一人では寂しい気がしますと山縣メンが話されました。TOF例会ですのでおにぎりにてワイズディナーを食し、「YMCAを学ぶ」研修会に大和田浩二 YMCA 同盟研究所所長を講師にお迎えして学びました。自己紹介にてYMと係りを持った経緯と今までの経歴を述べられ、現職は毎日の勤務でなく、以前よりは少々肩の荷が軽くなった様です。

1844年ロンドンで12名の若者達がYMCAを創設した経緯、たちまちヨーロッパ、アメリカに広がり若者の健全な生き方に貢献、日本には1880年明治維新直後に近代文明と共にキリスト教が伝わり、大学の中に学生YMCAとして誕生、夏季学校が行われるようになり1915年御殿場東山荘が学生夏季学校の場として作られ、朝ドラの「あさ」、広岡浅子がこの事業に尽力された。戦時中の苦難を乗り越え、戦後は都市型YMCAとして各地にYMCAができ、若者の教育活動に力を注いだ。専門学校やホテル等の事業から、近年は福祉事業、チャイルドケア事業を展開、それに伴い経営形態も多様化してきている。

各地のYMCAの専従職員の役割がますます重要になるが御多分に漏れず高齢化が進んでいる。若者を育てるシステム作りを充実し若者を取り込んでいくことが大切です。と役職も踏まえてのお話でした。

報告事項として

- 1、2月13日のあずさ評議会開催のお知らせと参加者について・・・駒田、相川、寺田、松村(豪)出席
- 2、いのちの電話チャリティコンサート
- 4月23日(土) 千住真理子ヴァイオリンコンサート
- 3、チャリティーランは6月11日に実施 小瀬サブグラウンド
- 4、ブリテン用紙印刷について・・・役員会にて
- 5、1月31日の東日本区大会拡大実行委員会報告

## 会 員 ペ ン リ レ ー 耕 作 放 棄 地 へ の 思 い

功刀 弘メン

2月9日の朝、TVで大熊町の農家が被災した農地で試験的に野菜を耕作していることが放映された。放射線に汚染された農地に国の許可を得て試験的にキャベツやブロッコリーを作っている。除染した土地といえども肥沃な土地が剥がされた上に作っていた。作物の放射線濃度は基準値以下になっていたが、国の許可がないのでキャベツを農耕機で潰して土に反す作業をしている農家のやりきれない姿に胸を痛めた。

1年前の3月、この年から山梨いのちの電話の責任者になることが内定されていたので5年間の東北支援は今年が最後と気を引き締めていた。2015年3月1日から常磐高速道路が全通したので、2011年に行った相馬市の病院をもう一度訪ねてみたいと相馬市まで走



避難指示地域を走る新開通区間に  
表示されている現在の放射線量。

ることとした。上野駅から「スーパーひたち」特急に乗った。2時に上野を発って4時13分にいわき市に着いた。

3月2日、トヨタレンタのプリウスを借りて相馬市へ向かった。いわき四倉ICから高速に乗ったが、その前に四倉の「道の駅」に寄りたかった。前に経験した「高田松原道の駅」と同様に廃墟となったままだだった。隣接の遊園地があったのか、子供のすべり台が網をかぶせられて保存されその横に陸に乗り上げた漁船がまだいまだにその儘置かれていた。

前日の高速道路開通の地元の新聞記事を見ながらこの道に入った。もともと被爆の強い常磐富岡ICから浪江ICまでの1区間が3月1日に開通したが、その間の被爆状況を目で確かめるのが第一の目標だった。

途中の被ばく線量表示が予定通り車窓から見るこ

うができた。写真に撮ろうにも高速を走っている

ので危険だしうまく撮れない。幸いにも途中の南相馬鹿島SAに、まとめて現在の被ばく量として表示があったので写真に収めた。開通した20kmほどの区間は避難区域で高速道の下に見える人家や田畑は人影がなくTVに放映されたように未だに広大な地域が廃墟同然の状況を高速道の眼下に見ながら胸を痛めた。

2011年11月に東北支援の初めとして石巻と相馬市の診療に関わったので、3年半後の様子を知りたかつ



た。それ以来相馬市の支援に会員だけはメンバー登録してあるので「双相 COCORO ニュースなごみ」が年に 1, 2 回送られてくる。それによると蟻塚亮二先生がクリニックに 2013 年から赴任していることを読んでいたのでそこを訪問することも目的に入れていた。

ノーアポだけでメンタルクリニックなごみを訪問し



て蟻塚亮二先生に会うことができました。彼は定年後、沖縄の精神医療に関わってから相馬市に赴任した。

彼の 2004 年の著作「沖縄戦と心の傷」を頂いた。相馬市に来て 3 年余り、このことがとて

も役に立ったと付け加えてくれた。この中では YMC A に尽くした母親の戦争体験が詳しく記されてあった。

今回建設中の公立相馬病院を車窓から目撃したが、4 月以後に開院するこの病院には精神科はないとのこと。

「メンタルクリニックなごみ」の役割がますます重要であると実感した。



### 蟻塚亮二先生

「沖縄戦の心の傷」トラウマ診療の現場からを拝読して

突然の訪問にもかかわらず、先生にお目にかかることができ、さらにご著書まで頂くことができ誠により難うございました。大勢のスタッフに囲まれて充実した診療に関わっていることが雰囲気から察することができて敬服いたします。

帰りの電車の中でそして帰ってからもご著書を読むことができ、先生のお考えに沿った内容が充満していることに圧倒されました。次に二三の感想を記しました。

先生のお母様がクリスチャンで戦争体験のトラウマからその晩年の症状から寿命を縮められたとのこと、私の母も同様です。昭和 22 年に 3 人の子供を連れて旧満州から引き揚げて来て、晩年は横浜の YWCA 活動も熱心にしていました。70 代になったころ YWCA から戦争体験を会報に書いてほしいと依頼されてから、重度の不眠に悩まされて私もそれを断るようにアドバイスしました。ソ連軍に侵入され略奪と天井裏に逃げ隠れたことが彼女を苦しめ 80 代に認知症になり亡くなる引き金となりました。私は当時母にセロクエルの少量を処方しましたが、先生のお考えと処方に賛成です。ジプレキサがあればなおよかったと思返しています。私の考えは深睡眠を如何にとるかがすなわち「過覚醒による不眠」を防ぐかがレジリンスを高めるのではないかと考えています。

私は相馬市の支援は 2 日間だけでした、二日目に相馬総合病院に往診を依頼されて大量服薬による自殺未遂の患者を診察しました。精神科医療



の乏しい現地での先生のご活躍はとても貴重に思います。金城重明牧師の「集団自決を心に刻んで—沖縄キリスト者の絶望からの精神史」を私も購入して読みました。院長を引退して 3 年になる余裕から初めて 4 日間の沖縄の旅を昨年してきました。先生のご体験と論述が心にしみみます。沖縄の飲み屋でこの秋には知事が変わるだろうと話してくれた方の言葉が思い出されます。

沖縄の米国による半永久的な基地化には日本人として私も維新の志士たちはどのように思うかと考えをめぐらします。先生や反戦の多くの論者が先の戦争はどこで間違ったのか、昭和の初めの世界的な不況の時期に中国に「満蒙は我が国の生命線として」展開したところから、石原莞爾らの米国との最終戦争を想定した時期とも論じることを耳にします。山梨の石橋湛山は小日本国を論じて中国への侵略反対を戦前から論じていることも知っています。私はこの国の指導者や一般世論の流れの間違いはよくわかるのですが、それではどのような道を歩めば女性の参政権、小作制度の廃止と自作農の育成、財閥の支配による産業、そして軍部

の専横を民主的な政治によってコントロールできるようになったかを考えます。我が国の侵略戦争が欧米に伍して戦い、その後の歴史の流れから東南アジアの独立など民族自立の流れを読み取ることが政治家にもできなかつたことに思いを巡らします。今振り返って原子力発電による公害を止めるには、電力の最低必要量以外はその料金を今の何倍かにして原子力に頼らない国づくりをすることが必須の時代に来ていると思います。そのような動きが出てこないのは、我が国にとって自力で女性参政権や小作農の廃止などができない戦前と同じ体質にあると思っています。

## 2 月 第 2 例 会 報 告

書記 寺田喜長

日 時 2016年2月16日(火)18:30~

場 所 YMCAセンター

出席者 相川、小沢、荻野、駒田、功刀、稲垣、佐藤、寺田、野々垣、古屋、広瀬、松村(豪)、薬袋、山縣  
14名

### 1) 3月例会について

- ・2016年3月1日(火)午後7時~ 山梨YMCA
- ・司会 寺田メン、一言 鎌田メン、ペンリレー 功刀メン
- ・ゲスト卓話 講師 澤田 明(メイ)氏  
共同通信社甲府支局 社会部記者  
演題 「共同通信社の働きと大村博士のノーベル賞受賞同行記」

大村博士と同級生の茅野メンが紹介下さるゲスト卓話者です。メネットを誘い出席下さい。

欠席者とメネットが出席される方は連絡ください。

(夕食数確認のため)

### 2) 草津クラブ DBC 山梨との合同例会について

・4月16日(土)~17日 草津クラブ、富士五湖クラブ、甲府21クラブ合同例会  
今年は草津クラブを訪問、例会、宿泊は今津サンブリッジホテル  
16日 9:00頃 出発予定  
草津クラブと富士五湖クラブの DBC 締結式を予定しています。

・今までは甲府21と草津、富士五湖と大津が DBC を結び4クラブ合同の例会をしていましたが、大津クラブが消滅し、富士五湖クラブの相手が無くなってしま

いましたが、今までの交流を生かして行くのに富士五湖と草津が DBC を結び兄弟クラブの富士五湖、甲府21との3クラブで交流を続けて行く事を確認する例会です。

・現在参加希望者 駒田、松村(豪)、薬袋、野々垣、寺田 迷っている人 相川、功刀

参加者の意見も伺いますが17日の午後は京都先斗町にて食事のオプションとの話もありますが!!

### 3) ブリテン印刷用紙について

・古屋メンの見積もり金額での購入を前提に購入量を増やした場合の金額を確認して会計と連絡を取り決定する。

### 4) 西日本区大会の案内

・2016年6月25日~26日 大阪市「松下IMPホール」

登録料 3月31日迄21,000円 以後23,000円

### 5) 5月のゲスト卓話について

候補者がございましたら連絡願います

### 6) その他

- ・3月ブリテン原稿締め切り2月23日(火)
- ・3月第2例会3月15日(火)18:30~YMCAにて
- ・チャリティーラン実行委員会  
3月11日(金)18:00~ YMCAにて
- ・東日本区大会登録開始2月25日 締切4月15日
- ・YMCA評議会からのお願い

常議員に甲府、甲府21からクラブの代表として1名選出願いたいとの要請があり、3月例会で検討する。

・松本クラブファンドの文旦は完売しました。有り難うございます。3,500円/箱を現品受け取り後に会計にお支払下さい

## 第2回あずさ部きさらぎ評議会報告

書記 寺田喜長

日 時 2016年2月13日(土)11:30~

会 場 松本市あがたの森文化会館

出席者、 駒田、相川、寺田、野々垣、奈良田、松村(禎)、松村(豪) 7名

松本クラブが担当する第2回あずさ部評議会が松本市内のあがたの森文化会館にて開催されました。冬季の信州での開催に寒気、降雪を心配しておりましたが、とんでもない異常な暖気により寒さ知らずの会議を、

旧制松本高校（信大）時代のままの木造校舎の会場で約 50 名が出席し議事審議、ミニ分科会を行いました。開会式で松本クラブ飯島会長の歓迎挨拶を頂きその中で松本での会議は是非冬季は避けて 5 月の気候の良い時に担当したいと要望をされました。評議会では 4 議案を審議しすべて承認され、当クラブ関係では、次期会長松村禎夫メンの承認と、「山梨県障害者フライングディスク競技大会共催」が C S 事業助成金事業として他の 4 事業と共に承認され、30,000 円を支給して頂きました。部長の第 2 回東日本区役員会報告、事業主査活動報告、各クラブ会長活動報告があり評議会は閉会し、懇親会は 6 班に分かれて食事をしながらミニ分科会みんなで語ろう「あずさ部を元気にするには」とのテーマで食べながら、少々飲みながら意見を述べ合い最後に各班からまとめが発表されました。誰でも参加できるあずさ部の部会、評議会にてクラブ間、メンバー間の交流を深める機会を作り参加することが楽しみになる様な環境作りが必要、より多くのクラブ間と交流する事が大切、等の意見、提案があり部長方針の L T 活動が実践された評議会でした。

## 2016-2017年度 あずさ部役員が承認されました。

役職名	氏名	クラブ名
部長	浅羽 俊一郎	東京山手クラブ
書記	小山 久恵	東京サンライズクラブ
会計	尾内 昌吉	東京山手クラブ
地域奉仕事業主査	後藤 昭子	富士五湖クラブ
会員増強事業主査	秋山 仁博	甲府クラブ
国際・交流事業主査	久保田 貞視	東京八王子クラブ
ユース事業主査	長津 徹	東京サンライズクラブ
メネット委員・連絡員	検討中	

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆☆ 山梨YMCA 通信 ☆☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 総主事 露木 淳司

2016年度の山梨YMCA事業計画では重点目標の一つに人材育成を掲げています。先日に皆様にご紹介させていただいた中田久仁を1月に採用したほか、4月より学童保育プライムタイムのスタッフとして1人、非常勤3人を採用する予定です。これでフルタイムスタッフはぶどうの木を入れると7人になります。かつてしばらく3人で回っていた時代を思い起こすと夢のようです。人数はそろってききましたが、YMCAスタッフとしての資質を身に付けていただくのにいましばらく時間を必要とするでしょう。

ただ人材が増えたことで、これまで以上に事業の幅を広げることが可能になります。さしあたって、この4月よりサッカープログラムを立ち上げる予定です。また、野外活動も積極的に企画していこうと思っています。そして来年4月からは発達障がい児のための放

課後等児童デイサービスを開設する準備をしています。山梨YMCAは2013年のぶどうの木オープンをきっかけに右肩上がり傾向に入っています。会館再建を前に確固たる財政基盤を確立し、時代と地域のニーズを見極めながら、YMCAブランドにふさわしい事業運営を今後も続けていきたいと願っています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

2月21日に富士五湖クラブの原俊彦メンより、「草津クラブと富士五湖クラブのDBC締結式に関する話し合いを進めてきましたが、今回は時期尚早、これ以上議論を重ねることは止め、全てを一旦白紙とする。将来メンバーから要望があつて機が熟した時点で改めて協議を進めれば良い。ただ、4月の合同例会へのお誘いには当初の予定通り小池会長を始め合計4名がお花見(?)がてら参加し、琵琶湖周辺の春を存分に楽しませて頂きたいと思っています。」とのコメントがありました。